

関連情報

◆札幌市発達障がい支援情報

<https://www.city.sapporo.jp/shogaifukushi/hattatu/hattatu.html>

札幌市の公式サイトです。

札幌市における発達障がい支援に関する取組や普及啓発に関するパンフレット等を掲載しております。



◆札幌市自閉症・発達障がい支援センター おがる

<https://www.harunire.or.jp/ogaru/index.html>

札幌市にお住まいの発達障がいのある子ども、成人の方への支援体制を整えていくことを業務としています。機関へのコンサルテーションも行っております。



◆発達障がいのある人たちへの支援のポイント

「虎の巻シリーズ」

<https://www.city.sapporo.jp/shogaifukushi/hattatu/toranomaki.html>

虎の巻はわかりづらいと言われる発達障がいの障がい特性と、家族や周りの人たちとの間で起こりがちな、思いの違いや対応法についても、イラストを用いて視覚化しています。



発達障がいは、先天的な脳の機能の違いであり、育て方や心の病気からなるものではありません。

得意なところと苦手なところの差が目立つ方が多いです。アンバランスさが影響して、人によっては理解の仕方や感じ方、考え方などに違いが生じ、困り感や日常生活に生きにくさを感じる方も多いかもしれません。

自分にあった学び方や工夫を見つけていき、また周囲の方たちがこのような違いを理解することで、その人らしい自己実現や社会参加を目指すことができます。

「大人の発達障がい」とは、子どもの頃から違いは見られますが、成人してから発達障がいの特徴がより目立つようになり、困り感や日常生活での生きにくさを感じるが増える方のことを指します。



みんなで知ろう
発達障がい

作成：札幌市発達障がい者支援地域協議会

それぞれの障がい特性

自閉スペクトラム症：ASD

(広汎性発達障害、自閉症、アスペルガー症候群など)

コミュニケーションの場面で、言葉や視線、表情、身振りなどを用いて相互的にやりとりしたり、自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを読み取ったりすることが苦手です。また、特定のことに強い関心を持っていたり、こだわりが強かったりします。また、感覚の過敏さや鈍感さを持ち合わせている場合もあります。

限局性学習症：SLD

(学習障害)

全般的な知的発達には問題がないのに、読む、書く、計算するなど特定の学習のみに困難が認められる状態を言います。

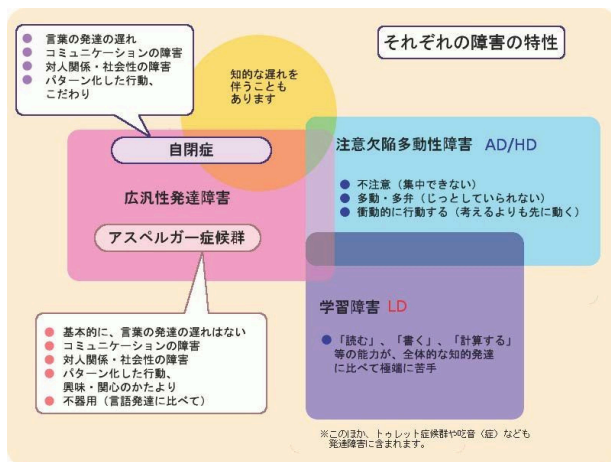
注意欠如・多動症：ADHD

(注意欠陥・多動性障害)

落ち着きがない、待てない(多動性・衝動性)、注意が持続しにくい、作業にミスが多い(不注意)といった特性があります。多動性・衝動性と不注意の両方が認められる場合も、いずれか一方が認められる場合もあります。

その他の発達障害

トゥレット症候群、吃音症なども発達障がいの一つです。



これらのタイプのうちどれにあたるのか、障害の種類を明確に分けて診断することは大変難しいとされています。障害ごとの特徴(とくちょう)がそれぞれ少しずつ重なり合っている場合も多いからです。また、年齢や環境により目立つ症状がちがってくるので、診断された時期により、診断名が異なることもあります。

引用：発達障害情報・支援センター

医療機関で受けた配慮の例

ここで紹介するのはあくまでも一例です。発達障がいの特性は一人一人違うため、必要な配慮も一様ではありません。ご本人やご家族の方に確認していただくことをお勧めします。



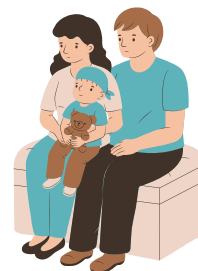
言葉だけで説明されるとわかりにくい
順序立てて物事を遂行することが苦手



初めての物、場所への不安が強い
全体よりも先に細部に注目しやすい

診察の流れや治療のスケジュールなどは視覚情報を交えて説明するとわかりやすい

使用器具を見たり確認したりできる練習できる



じっとしていることが苦手
音や匂いなど感覚刺激に敏感



読み書きする労力が大きい
急な質問にスムーズに応えられない

病院内の人が少ない場所や院外など待つ場所を選ぶことができる

問診票・予診票等を代筆するweb等で事前に問診票の入力ができる

* 予診票については使い方ガイドをご参照ください